

■市民説明会での主な意見と対応状況

※市民意見については回答のみで計画への修正はありません。

ページ	項目等	意見の要旨	意見への回答と対応状況(考え方)
P19	まちづくりに対する市民の意見	市民意識調査では、人権意識の重要度が低くなっているが、どのように考えるか。	○人権に対する意識が社会全体として低いのではなく、身近に感じる事が少ないと思われるためこのような結果となったと考えます。
P29	妙高市の人口の将来展望	人口減少対策に関して、国はいろいろな取組を進めているが、出生率を上げることは難しいと考えている。また、日本全体で人口減少や少子高齢化が進む中、自治体同士が人口を奪い合っている状態に陥っている。	○社会減の抑制は、地域の特性を活かした取組により、一定の効果が見込まれることから、住宅取得支援などの移住・定住施策により、転入増加・転出抑制を図っています。 ○自然減の抑制は、自治体単独での効果は限定的であることから、国・県の施策と連動した取組を進めているほか、出生数を増やすため、「こども家庭センター」の設置による相談支援や、園・学校での給食費の無償化など、子育て支援の充実に取り組んでいます。
P29	妙高市の人口の将来展望	出生数を増やすためには、職場からの理解がないと厳しいと思う。	○職場でのサポートの一つとして、育児休暇を取得しやすくすることも必要ですが、社会全体の意識を変えることが大切であり、これからも意識を高めるための取組を続けていきます。
P23	妙高市の人口の将来展望	人口流入を促進するためには、ターゲットを明確にする必要がある。流山市では、マーケティングが成功しているため、人口増加を続けていると思う。他市の成功事例を参考にしながら、取組を進めてほしい。	○人口減少対策の充実・強化に向け、他自治体の先進事例等の調査研究を継続し、当市の実情を踏まえた施策を展開していきます。
P29	人口の将来展望	人口の将来展望については、民間の視点を取り入れ、目標人口を5万人に設定するなど、高い目標を掲げ、その達成に向けた施策を推進することが必要だと考える。	○第3次総合計画の期間中の人口は、市の将来推計と社人研推計のいずれも下回る厳しい見込みとなっています。第4次総合計画の期間中も、現状の人口推移が継続した場合は、社人研推計を下回る見込みですが、民間活力の導入を含め、分野横断的な対策の強化により、人口減少を抑制し、社人研推計を上回ることを目指しています。
P31	まちづくりの基本姿勢	「まちづくりの基本姿勢」を新たに位置づけ、全ての人とのつながりや選択肢のあるまちづくりなどを重視するといった4つの視点は非常に良いと感じている。これらの考え方が施策の中でどのように反映されているのかを教えてください。	○まちづくりの基本姿勢を含め、まちの将来像については、市民とのワークショップ等を通じて作り上げてきたものであり、まちの将来像の実現に向けた根幹となる考え方は、リーディングプロジェクトをはじめ、あらゆる基本施策・主要施策に反映しています。
P32	まちの将来像	第4次総合計画の目玉は何か。	○第4次総合計画は、市民とのワークショップ等を通じて作り上げてきたものであり、その意見を集約したまちの将来像である「みんなでつくる“自分の好きを選べるまち”妙高」が、本計画の核であり中心となるものです。施策としては、リーディングプロジェクトである「次代を担う子ども・若者の成長・交流・つながりの場づくり」が重点施策となります。
P39	基本施策・主要施策の推進	目指すまちの姿は6つと多く、文字量も多いためわかりづらい感じる。	○目指すまちの姿は、まちの将来像の実現に向け、政策分野を6つに集約したもので、個別の施策については、主要施策ごとに見開きで、現状と課題、具体的な取組等を掲載するなど、見やすくわかりやすいように構成しています。今後は、計画の動画を作成するなど、よりわかりやすく親しみやすい形での周知も進めていきます。

ページ	項目等	意見の要旨	意見への回答と対応状況(考え方)
P56	目指すまちの姿1- 基本施策2- 主要施策1	妙高型イエナプラン教育については、教員の負担や資質を考慮すると、大規模校での実施は難しいと感じている。	○イエナプラン教育の本質は、子どもたちが仲間と共に主体的に学ぶことです。イエナプラン教育の良いところを学校の規模に応じて取り入れることができるため、各学校の特色ある教育に活かしていきたいと考えます。
P64	目指すまちの姿2- 基本施策1- 主要施策1	妙高地域の人口増加は難しい状況である。地域で子どもを見守り育てるという話があったが、地域自体に活力がないため、子どもたちを支える体制が整わない。	○妙高地域では「ふるさとづくり妙高」が地域とつながり、連携しながら介護予防などの取組を進めています。これらの活動を足掛かりとしさらに充実したものとなるよう、行政としても支援していきたいと考えています。
P70	目指すまちの姿2- 基本施策2- 主要施策1	地域人材が活動できる場を広げてほしい。	○学校や地域活動など、引き続き、地域人材が活動できる場を確保していきます。
P74	目指すまちの姿2- 基本施策2- 主要施策2	専門学校からオリンピック選手が輩出され、妙高のブランド化にもつながっているため、価値を再認識する必要があるのではないか。	○専門学校との連携も視野に入れ、「ウィンタースポーツ」や「アーバンスポーツ」の普及、振興に努めていきます。
P78	目指すまちの姿2- 基本施策3- 主要施策1	ふれあいパークにある雪国民俗資料館に、専門学校から輩出されたオリンピアの紹介のほか、周辺にスケートボードができる場所を設けるなどの活用策を検討してほしい。	○様々な視点から市内収蔵公開施設の再編を検討する中で、活用方策を検討していきます。
P82	目指すまちの姿2- 基本施策4- 主要施策1	合併以降、第4次の総合計画であるとのことだが、将来像は非常に良いと思う。大型リゾート開発によって、企業進出などの話もあり、外国人の受け入れなども課題となる。	○市としては地域と共存共栄できるようにしていくことが行政の役割であると認識しています。第4次総合計画でも外国人との共生社会の実現を目指し、相互理解に向けた支援や外国人が安心して暮らせるための支援を進めていきます。
P86	目指すまちの姿2- 基本施策5- 主要施策1	市の名称を「旧新井市」から「妙高市」に変更したことにより、観光面で非常に良いイメージを持つようになった。妙高市は自然資源が豊富であり、大洞原のトマトや斐太歴史の里のカタクリの花など、魅力的なコンテンツがたくさんあるため、これらの情報をつなぎあわせて、メディアなどを通じてタイムリーな情報発信に努めてほしい。 銀座にある県のアンテナショップには富裕層が集まり、有機農業の地場産野菜が売れている。ここでの発信も非常に効果的だと考えている。	○自然や歴史文化等の魅力的なコンテンツの情報発信については、十分でない面もあることから、目的にあわせてターゲットを設定し、伝えたい価値や魅力を明確にした上で、効果的な方法により発信していきます。
P86	目指すまちの姿2- 基本施策5- 主要施策1	首都圏の大学生と連携してまちづくりを進めるとのことだが、地元の高校生との間にギャップがあり、うまくいかないのではと感じる。上越教育大学など地元の大学との連携を進めるべきではないか。	○今年度から、新井高校と筑波大学・麗澤大学・長野大学との「高大連携プロジェクト」に取り組み、妙高の未来を考える「まちづくりワークショップ」を開催しました。ワークショップでは、高校生の発想や気づきに大学生の専門知識が加わり、地域課題を踏まえた取組が提案されました。今後は、上越教育大学などとの連携のあり方についても検討していきます。
P86	目指すまちの姿2- 基本施策5- 主要施策1	関係人口の増加は必要である。他市町村ではバーチャル市民などで関係人口を増やそうとしている。	○関係人口の創出・拡大のため、対面だけでなく、オンライン上の関係構築に向け、今年度から「みよこちゃん」というインターネット上のコミュニティを開発し、市内外の多様な人材とのつながりの場づくりを進めています。

ページ	項目等	意見の要旨	意見への回答と対応状況(考え方)
P86	目指すまちの姿2- 基本施策5- 主要施策1	大規模開発による新たな人の流れが生まれることに目を向けるだけでなく、地域にある小さな取組の一つひとつを大事にしていくことが、様々な人とのつながりを作る上で重要だと考えている。専門学校生は妙高に魅力を感じて戻ってきてくれる。専門学校との連携や支援を検討していくべきではないか。	○地域での身近な関係性を大切にし、誰もが参加しやすい環境づくりを進めながら、地域の主体的な活動を支援していくこととしています。アウトドア等の専門学校とも連携を図り、自然体験活動の充実や、地域産業の人材育成等につなげていきたいと考えています。
P86	目指すまちの姿2- 基本施策5- 主要施策1	ふるさと納税による寄附額の増加を図る必要がある。	○当市では、ふるさと納税サイトと連携し、寄附しやすい環境づくりや返礼品の充実に取り組んでいるところ。この分野にはまだ多くの可能性があるため、今後も寄附額の増加に向けて検討していきます。
P100	目指すまちの姿3- 基本施策2- 主要施策1	民生委員の担い手がいない。国へ制度の見直しを働きかける必要があるのではないかと。	○全国的な課題であり、若い人たちを含めて地域全体で支援が必要なかを見守り支えていく必要があると考えますので、対策を検討していきます。
P110	目指すまちの姿4- 基本施策1- 主要施策1	青山学院大学との連携を活かした取組を進めてほしい。例えば、市内の宿泊施設と協力し、わかりやすいパンフレットの配布なども検討できると思う。	○絶大な認知度があることから、青山学院大学と連携した観光誘客につながる施策を検討していきます。
P110	目指すまちの姿2- 基本施策5- 主要施策1	アパリゾートから関温泉までヒルクライムレースなどを含め、自転車の活用を検討してはどうか。	○市では、妙高市の山、上越市、糸魚川市の海をテーマに三市が連携したサイクルツーリズムを進めており、広域的な誘客促進を図っていきます。
P114	目指すまちの姿4- 基本施策1- 主要施策2	外資系企業による大型のリゾート開発によって外国人が入ってくるがどのように考えるか。	○今後様々な形で外国人との関わりが増加してきます。多文化共生を推進し、共存共栄が基本であると考えています。
P114	目指すまちの姿4- 基本施策1- 主要施策2	長野県などと比べると、妙高市は観光客をうまく呼び込めていないと感じている。妙高に遊びに行きたいとはあまり思わない。	○おもてなしの心をもった観光客への対応、データ分析を踏まえてターゲットを絞った情報発信や、道の駅のリニューアルも予定されているため、これらをうまく活用して観光誘客を進めていきます。
P118	目指すまちの姿4- 基本施策2- 主要施策2	子どもたちが地元に戻ってきたいと思ってもらえるためには、やはり働く場が必要である。	○市としても若い世代の転出抑制・転入促進が重要な課題として認識していることから、リーディングプロジェクトを通じて、「子どもや若者」が地域に愛着を持てるように働きかけ、地元に戻ってもらえるよう取り組んでいきます。また、若年層が求める職種に関するニーズを的確に把握し、それを基に効果的な施策を展開していきます。
P118	目指すまちの姿4- 基本施策2- 主要施策2	若者が地域を離れていく理由は、魅力的な働き場がないからだと思う。上越地域での企業誘致のあり方などを見直す必要もあるのではないかと。	○市内には優れた企業がありますが、その情報を十分に学生に伝えられていないと感じています。まずは情報発信を強化し、若者の声を聞きながら対策を考えていきます。
P120	目指すまちの姿4- 基本施策2- 主要施策3	雪国では園芸作物の作業期間が限られていること、園芸作物は毎日の作業があり大変であることから、広めていくことは難しい。	○先進事例を研究し、地域に適した品種の選定も含めて対応を検討していきます。
P144	目指すまちの姿6- 基本施策3- 主要施策1	人口減少・少子高齢化が著しい地域もある。インフラ整備等で多額の経費がかかるのであれば、その財源を活用して、集団移転も考えていくべきでは。	○現段階では、住み慣れた地域で暮らしてもらうための支援をしていくことを市の方針としています。

ページ	項目等	意見の要旨	意見への回答と対応状況(考え方)
P156	持続可能な行財政運営	行政の人員が少なく、給与水準も他市に比べて低いため、人材確保が難しいのではないかと。	○市民サービスを維持するため、人材確保と組織体制の見直し、業務のスリム化などを図りながら対応していきます。
-	道の駅リニューアルについて	道の駅のリニューアル検討について説明があったが、市民の声を聴きながら先進的で話題に上るような取組につなげてほしい。	○道の駅のリニューアル計画については、他の計画と同様に策定過程において市民の声を聴いていきます。
-	施策の目標値	目標値について、100%である指標を継続する必要があるのか	○現状値が100%である指標においても、指標の重要度や達成の難易度等によって、継続しているものもありますが、その必要性については再度、精査し、適切な目標値を設定していきます。